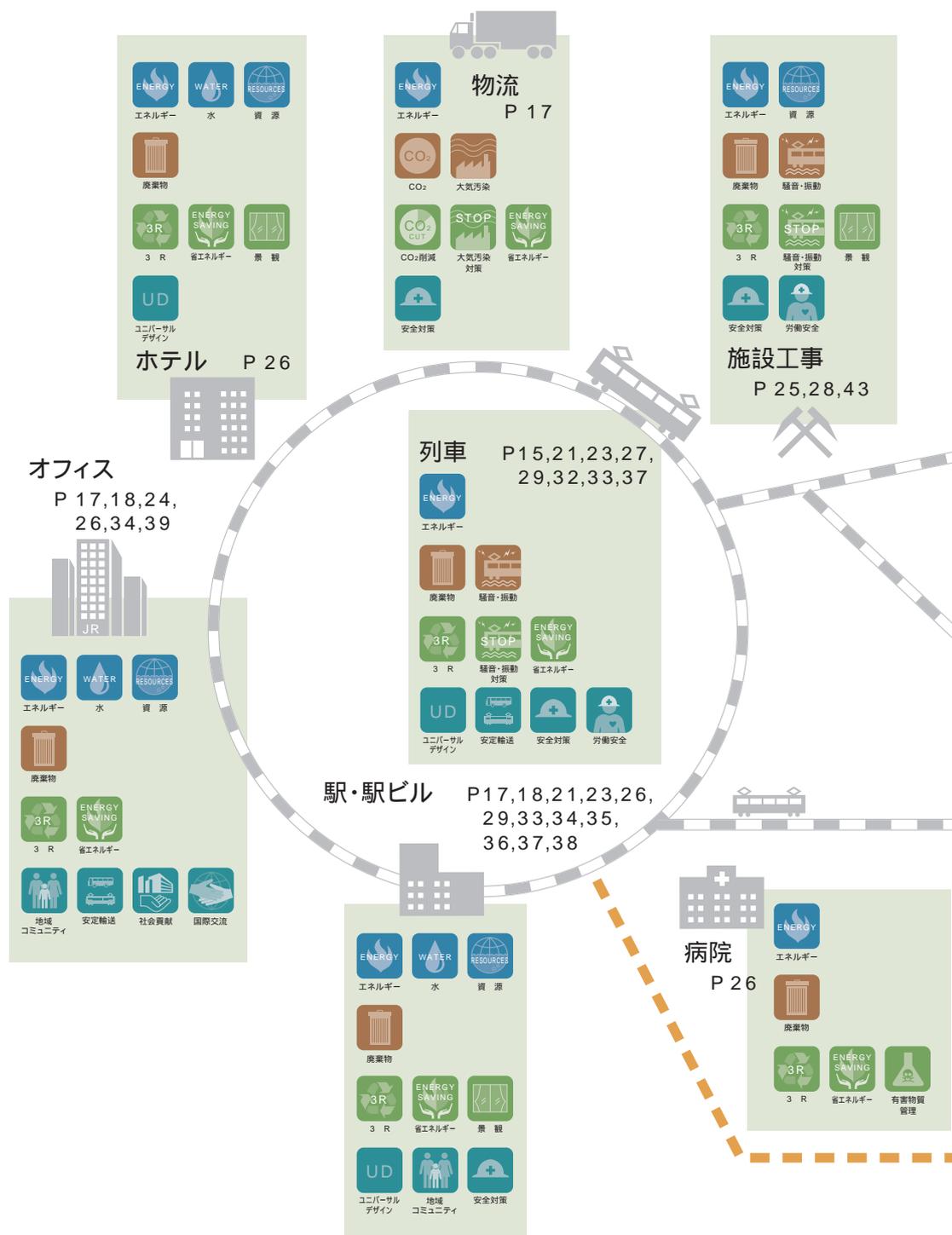


JR東日本の事業内容と環境・社会との関わり

JR東日本は、首都圏を含む本州の東半分を事業エリアとし、約7,500kmの沿線において、約1,700駅、約12,000車両で、鉄道輸送サービスを中心としたさまざまなサービスをお客さまに提供しています。

このサービスを提供するにあたっては、CO₂や廃棄物の排出など、環境負荷が発生してまいりますので、これらの負荷をできる限り小さくするよう、環境保全活動を行っています。また、鉄道輸送の根幹となる安全・安定輸送を確保し、地域や社会への貢献などにおいても企業の責任を果たすよう、さまざまな取り組みを行っています。



インプット	エネルギー	水	資源	アウトプット・ 配慮点	CO ₂	廃棄物	大気汚染	水質汚染	騒音・振動
環境対策	CO ₂ 削減	3 R	大気汚染対策	水質汚染対策	騒音・振動対策	省エネルギー	有害物質管理	植樹	景観
社会性 安全性 対策・配慮	ユニバーサルデザイン	地域コミュニティ	安定輸送	安全対策	社会貢献	国際交流	労働安全		

3R：廃棄物のリデュース(削減)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)
 ユニバーサルデザイン：できるだけすべての人が利用しやすいように配慮した設計(バリアフリーなど)を行うこと

